

三、子ども・子育て支援について

- 1.やまぐち子ども子育て応援プランの来年度予算への具体化
- 2.子ども・子育て支援新制度のとりくみ
- 3.保育士などの人材確保・処遇改善

四、若年性認知症について**五、上関原発について****六、選挙投票率向上の取り組みについて****七、特定秘密保護法について**

- 1.県警における対策
- 2.特定秘密の有無および取扱者
- 3.法の対象となる民間事業所

八、教育問題について

- 1.新教育委員会制度
- 2.発達障がいに対する学校現場の対応

九、岩国基地問題について

- 1.F-35Bステルス戦闘機の岩国配備
- 2.空母艦載機部隊の受け入れの考え方

一般質問の質疑から 一部抜粋

一、新年度予算編成方針について

1 チャレンジプランの具体的施策と予算配分

● 佐々木

知事は、来年度、新たな県政運営の指針であるチャレンジプラン(元気創出やまぐち!未来開拓チャレンジプラン)のとりくみを本格的にスタートさせる方針だ。

具体化についてたずねる。

● 渡邊総務部長

これから予算編成作業が本格化するので、お示しできる段階にはない。チャレンジプランの具体化に向け、優先的に実施すべき新たな取り組みに対して、予算を重点配分する。

● 佐々木

優先的に配分すべき取り組みとは何か。

● 渡邊総務部長

具体的な内容については示せる段階ではない。(※佐々木注 第一質問の答弁とまったく同じ。)

3 県独自の返還義務のない奨学金制度の創設

● 佐々木

2013年11月でも質問したが、その際の答弁

は、課題の整理について検討中とのことだった。本件は、前知事の選挙公約だったが、もう消えた話と判断しようか。

● 上野総合企画部長

国が来年度に向けて、経済的理由により進学を断念することのないよう奨学金制度の拡大・充実について検討している。

まずは、こうした国の動向を注視していく。

4 中山間地域の活性化

● 佐々木

県土の70%を占め、地方創生のために、また、定住希望に応えるためにも、中山間地域の地域資源を活用した活性化策は、非常に重要だ。

①新年度予算でどのように取り組むのか。

②県と市町の一層の連携のためにネットワーク的組織の立ち上げが必要だ。

● 上野総合企画部長

①チャレンジプランに沿って、「やまぐちスロー・ツーリズム」の観光・交流産業への発展や、6次産業化への取り組み強化など、地域の資源や特性を活かしたビジネスづくりを推進していく。

②県はこれまで、市町と連携協働しながら取り組みを進めている。

昨年度から、県民局単位で設置している「中